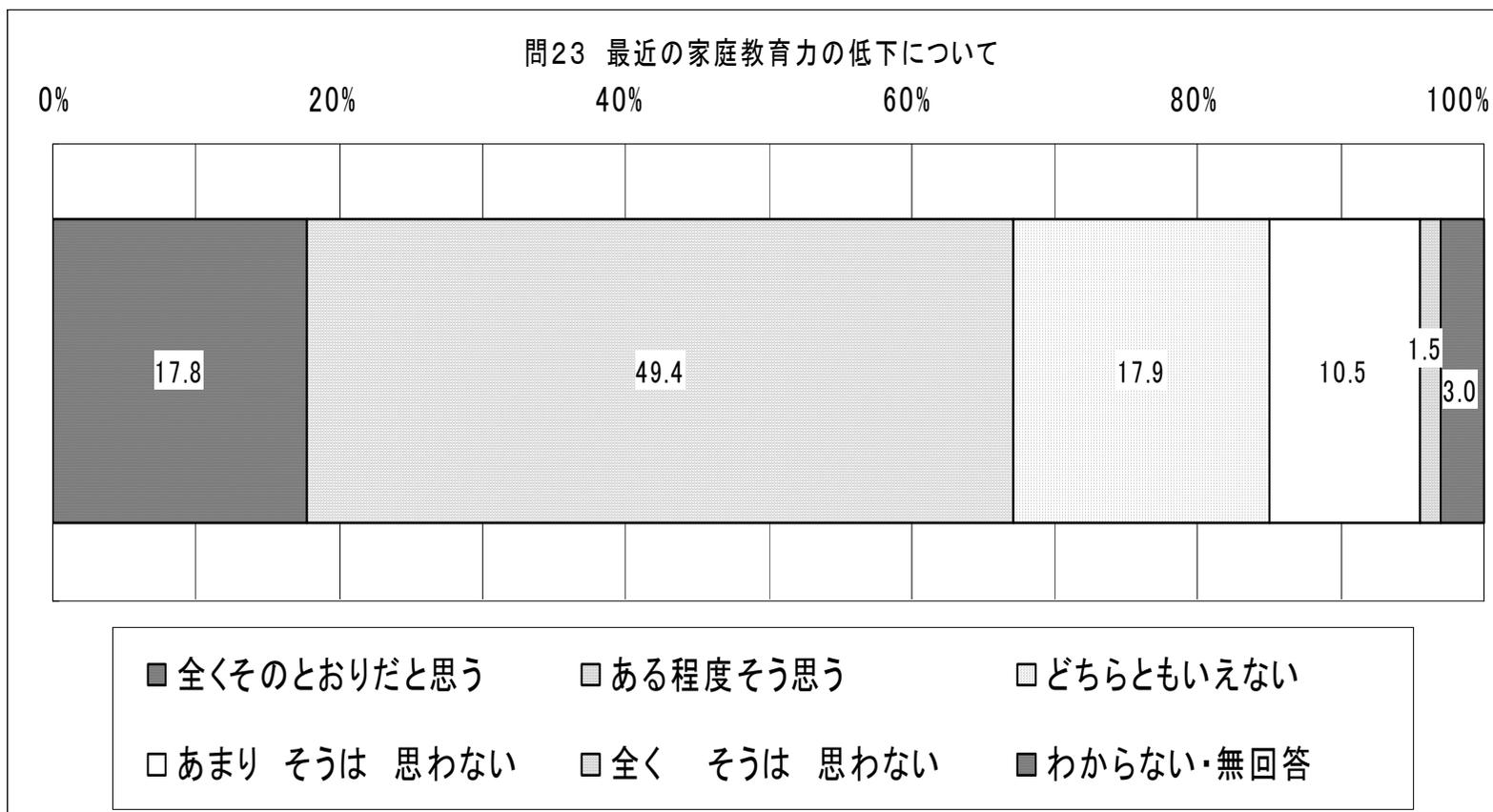


家庭の教育力の低下について

1) 単純集計

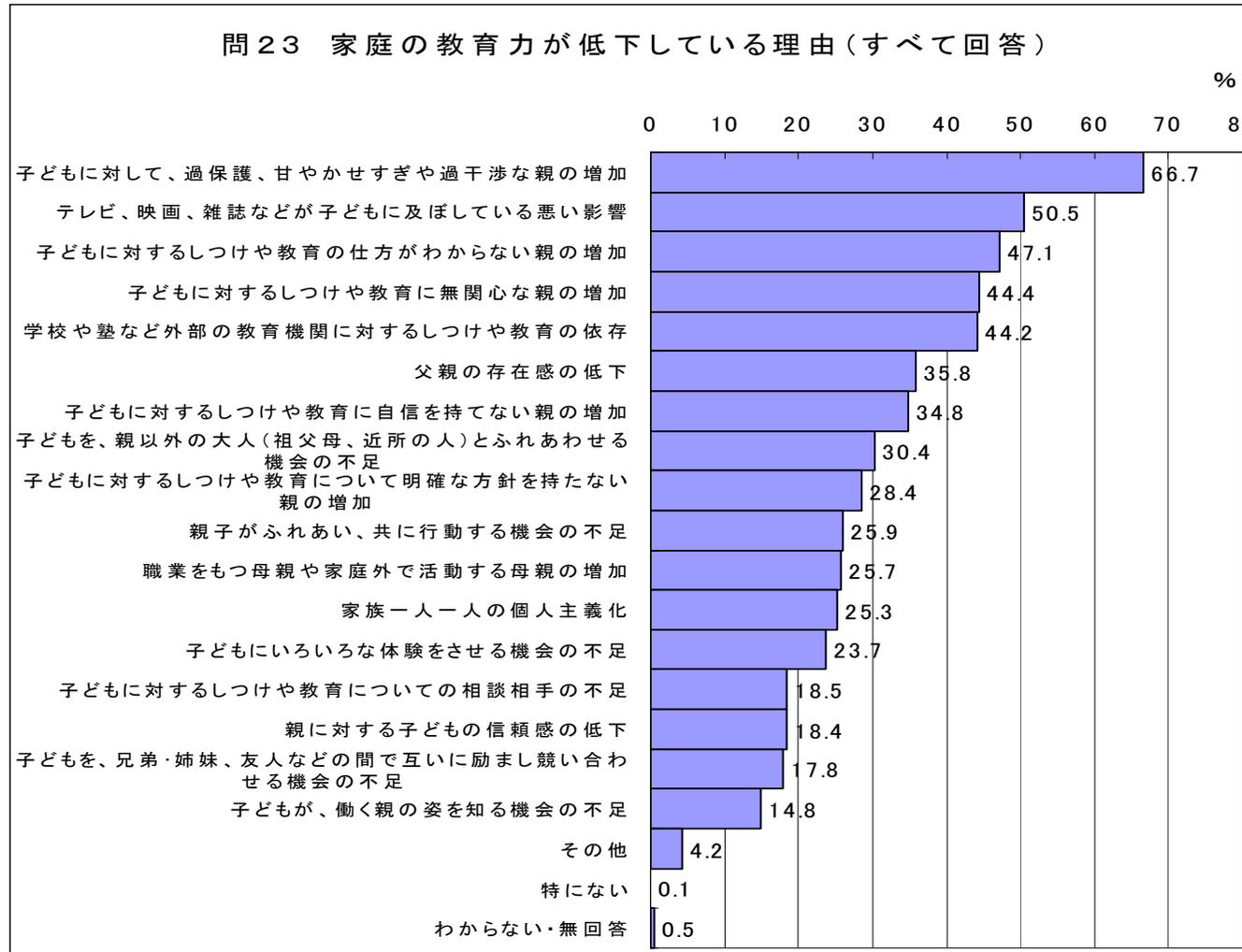
約7割の親が家庭の教育力が低下していると実感



資料: 文部科学省委託「家庭の教育力再生に関する調査研究」(平成13年度)
調査対象: 子どもと同居する親のうち、25～34歳の男女3,859人

2) 家庭の教育力が低下している理由

第1位は「子どもに対して、過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加」

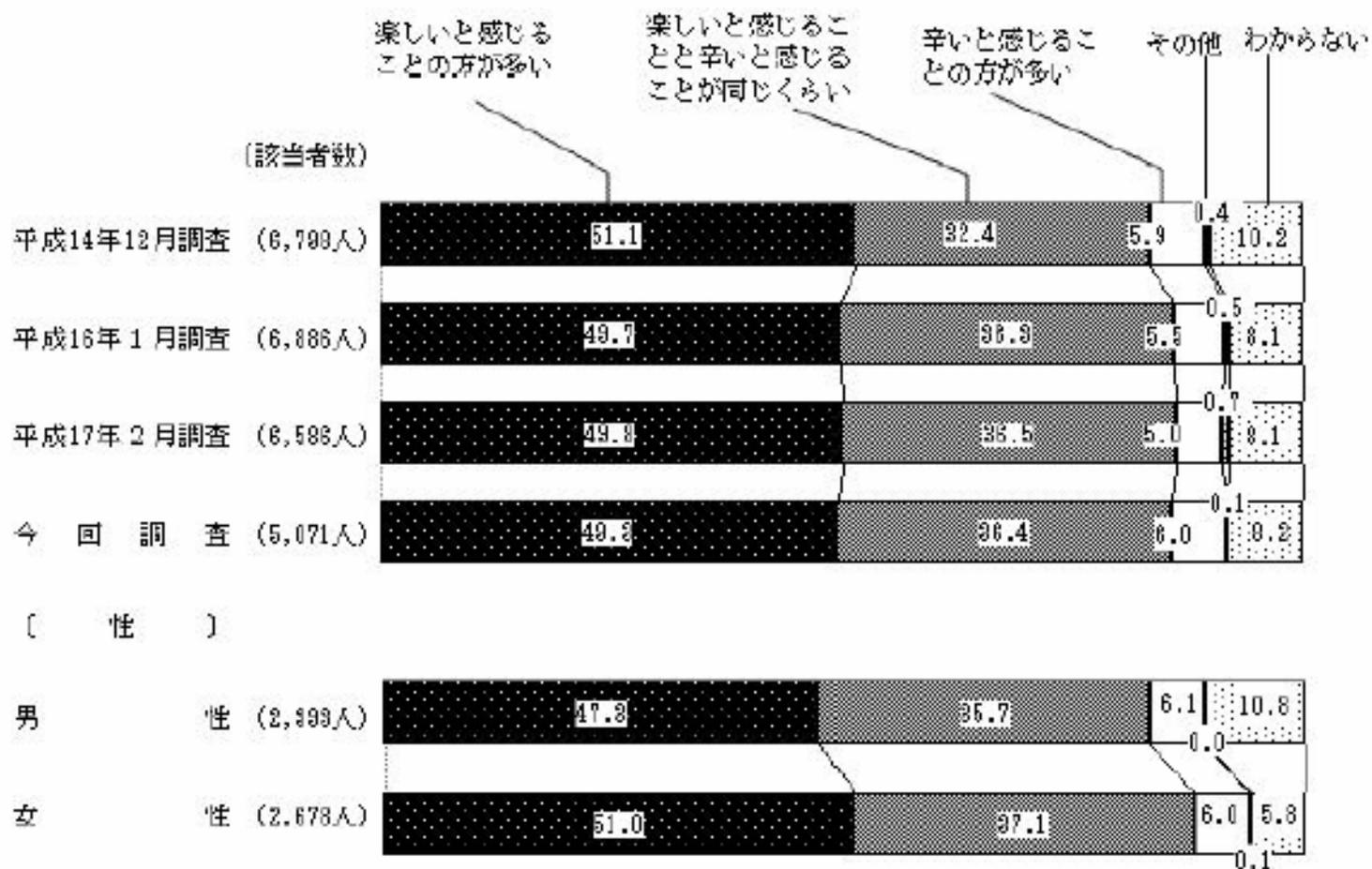


資料: 文部科学省委託「家庭の教育力再生に関する調査研究」(平成13年度)
調査対象: 子どもと同居する親のうち、25~34歳の男女3,859人

子育てに対する思い

「子育てを楽しいと感じるか、辛いと感じるか」

子育てを「楽しいと感じることが多い」人は約半数(49.3%)



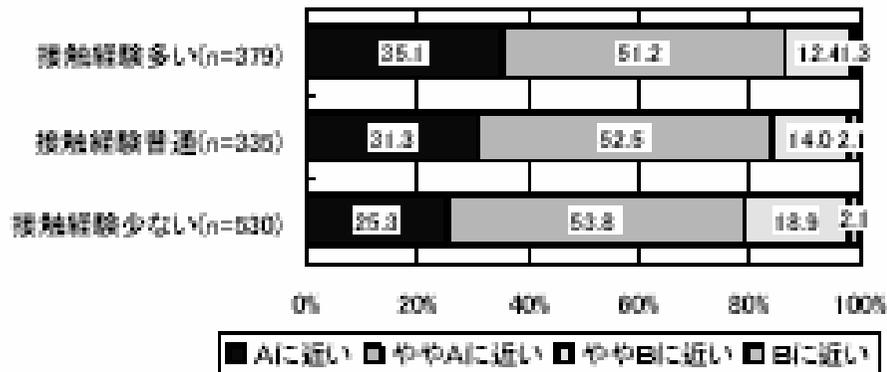
資料：内閣府「社会意識に関する世論調査」
調査対象：全国20歳以上の男女10,000人

子育てに対するイメージ

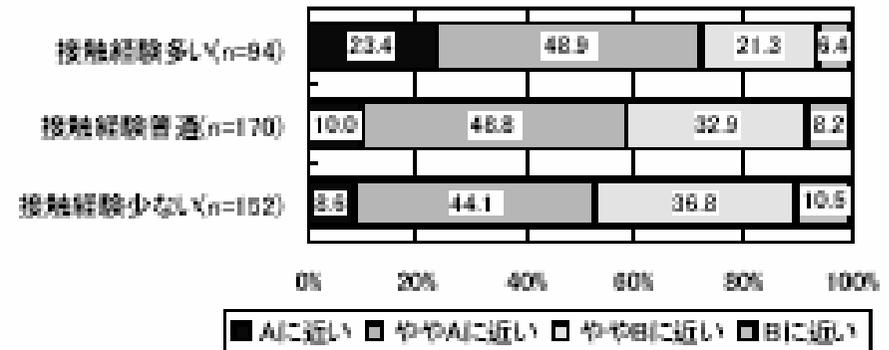
子どもとの接触経験が多い層ほどより「楽しい」イメージを持つ傾向

A:子育ては楽しい B:子育てはつらい

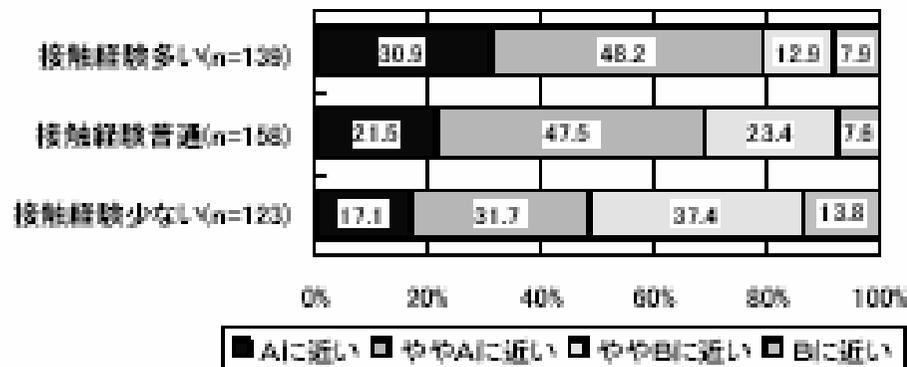
【子育て層】



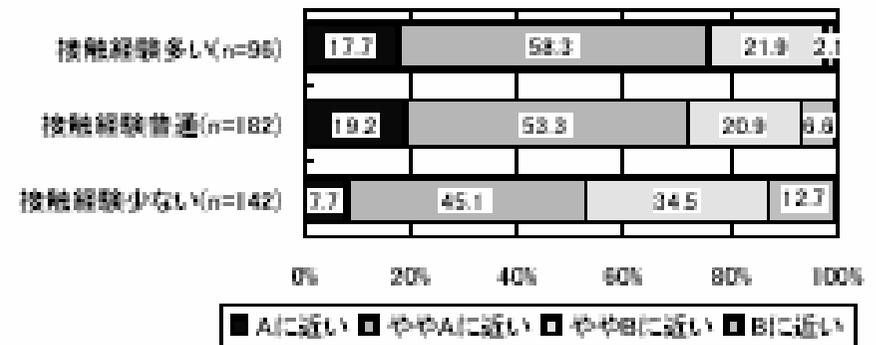
【子どものいない未婚層】



【中高生層】



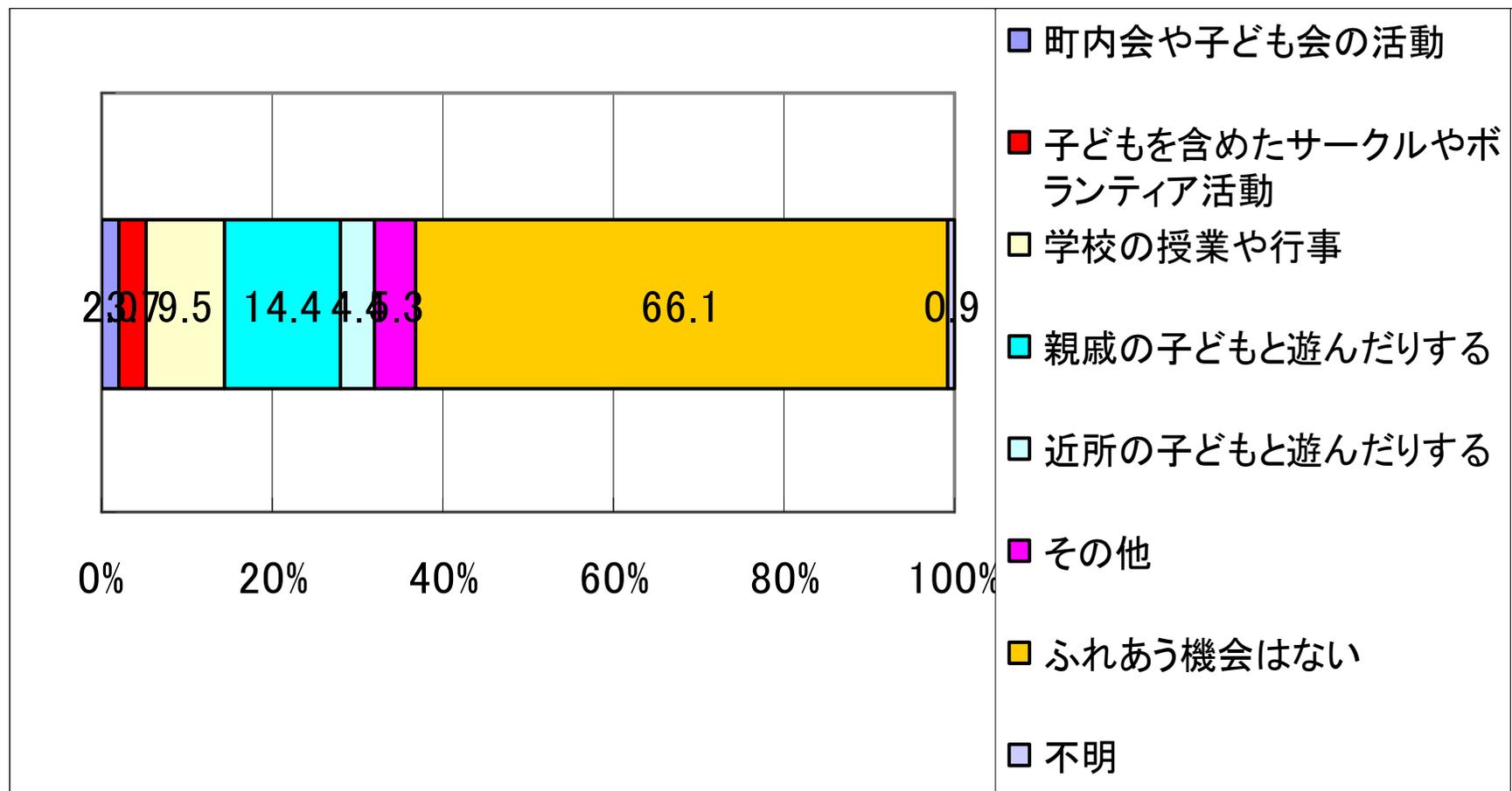
【子どものいない既婚層】



資料:厚生労働省委託「子育てに関する意識調査」(平成15年度)
 調査対象:子育て層1,244人(母親625人、父親619人)、子どものいない層(18歳以上の男女)836人
 中高生層(中学生・高校生の男女)420人、中高年層(50歳代・60歳代の男女)422人

中・高校生が小さな子どもとふれ合う機会

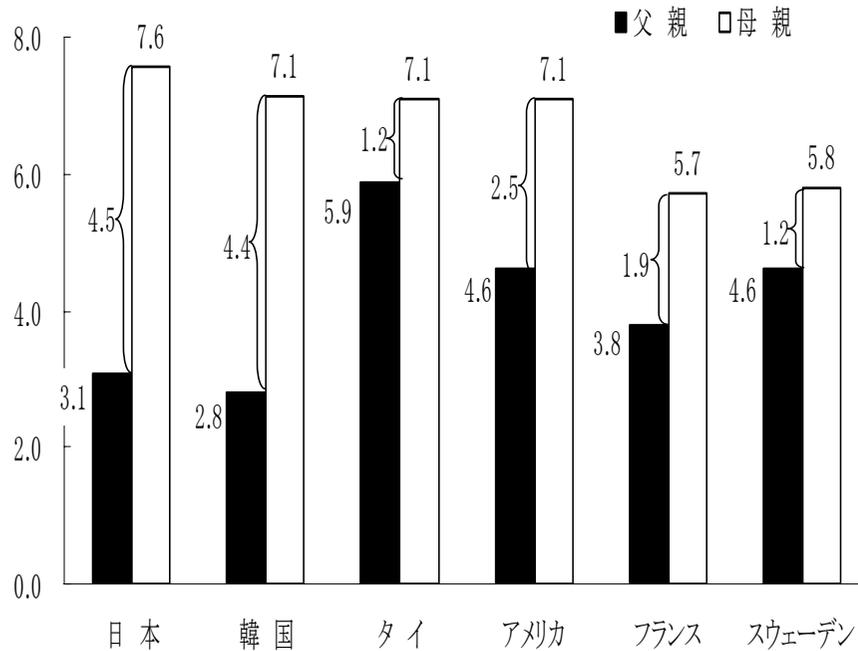
小さな子どもとふれあう機会がない中・高校生が66.1%



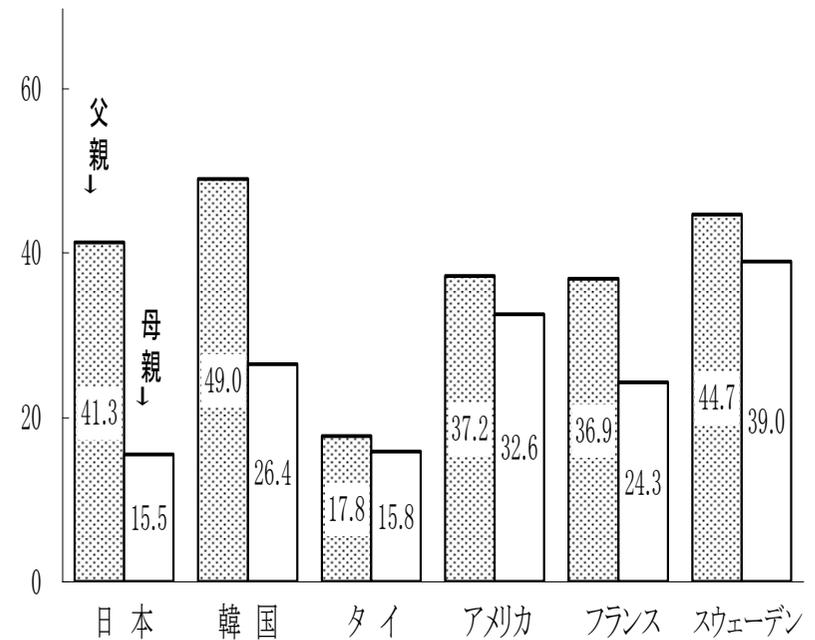
父親が子どもと接する時間と悩み

日本の父親は、1日平均3.1時間しか子どもと一緒に過ごしていない
(父親と母親の接触時間の差が4時間台と大きい)

○父親が子どもと接する時間 (国際比較)



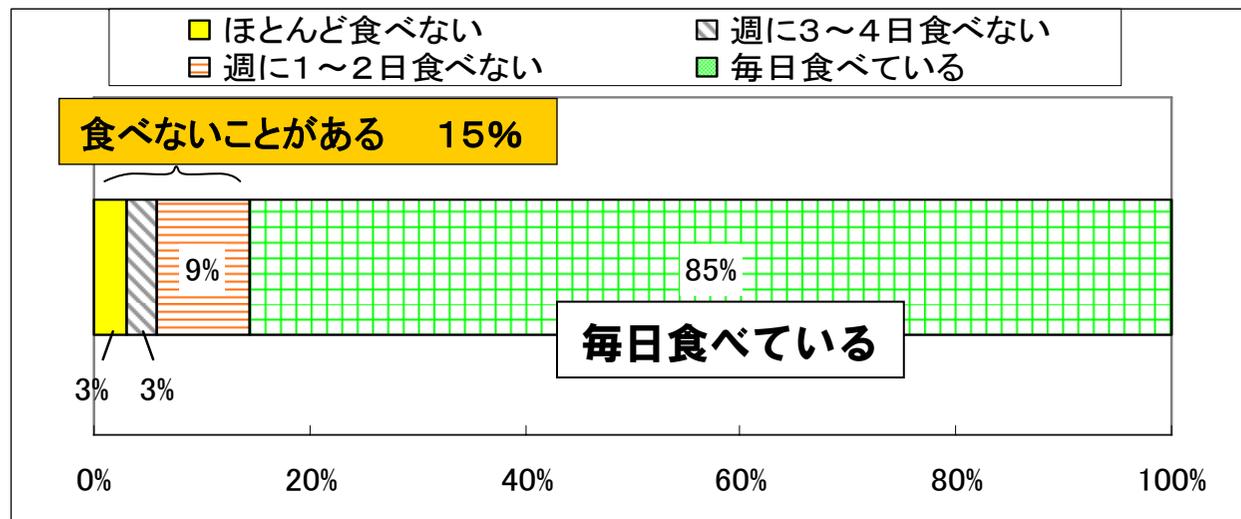
○「子どもと接する時間が短い」と考える父親の割合 (国際比較)



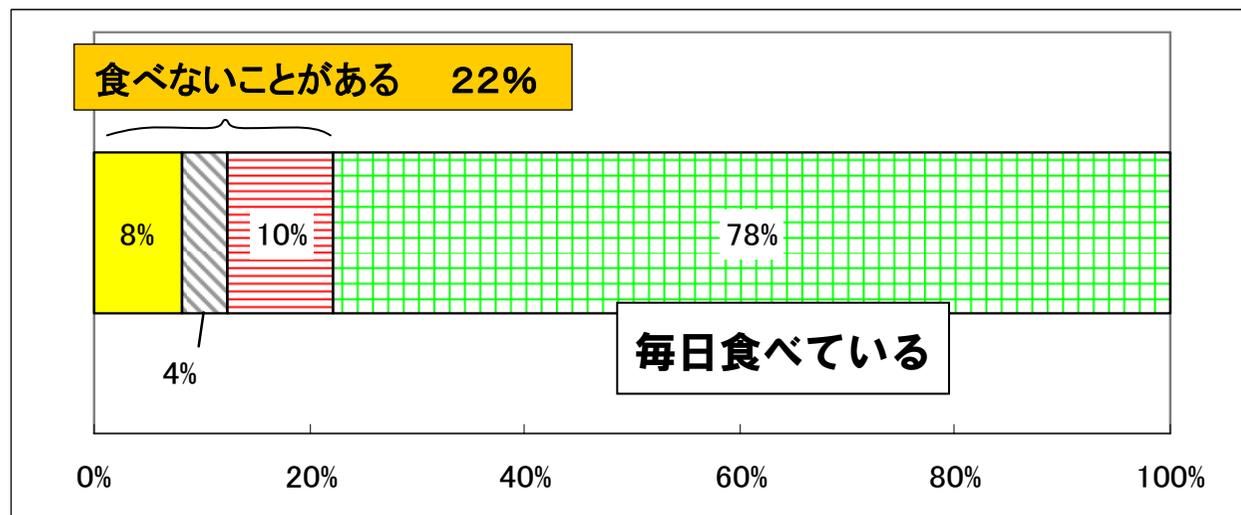
小・中学生の朝食摂取の割合

多くの小中学生が朝ごはんを食べていない

小学生



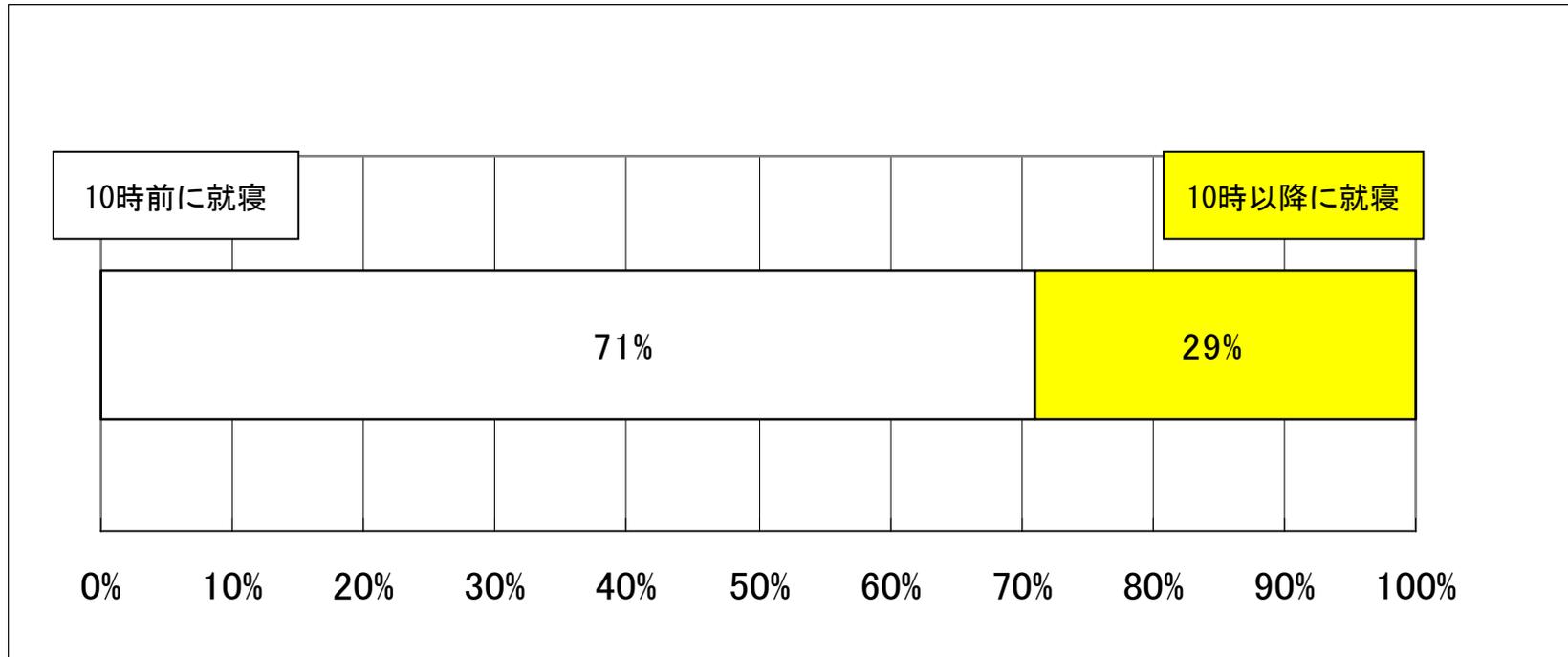
中学生



資料: 文部科学省委嘱「義務教育に関する意識調査」(平成17年度)
調査対象: 全国の小中学生・保護者等 36,000名

就学前の幼児における就寝時刻

約3割の幼児が夜10時に以降に就寝



資料：ベネッセ教育研究開発センター「第3回幼児の生活アンケート」（平成17年）
調査対象：首都圏の1,5歳～6歳の幼児を持つ保護者 2,980人